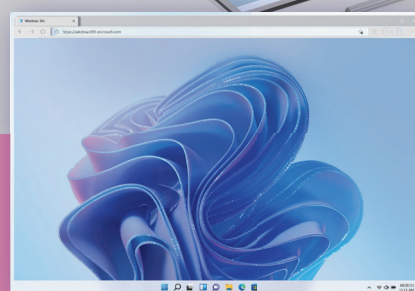


# 30S で校務利用が可能に!

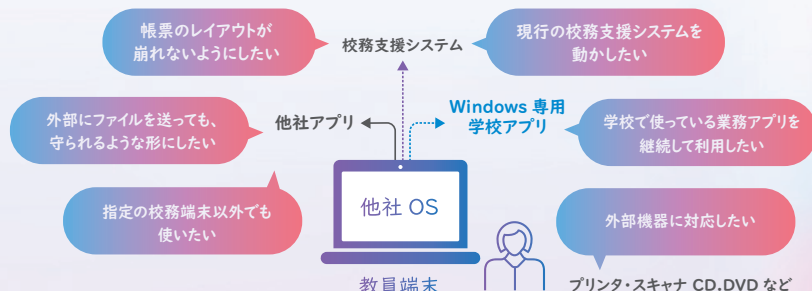
仮想マシン Windows 365 / Azure Virtual Desktop

Windows 仮想マシン (Windows 365 / Azure Virtual Desktop) を活用することで、Windows 以外の OS を使用している場合でも、学習端末を校務に活用し、一人一台の運用を実現できます。



## 学習端末を校務端末にするときの課題

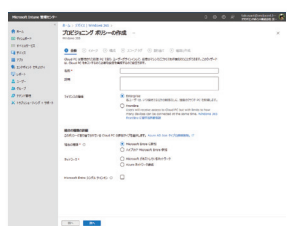
学校では、DVD の再生やプリンターの利用、時間割作成ソフト、校務支援システムなど、Windows でしか対応できない業務があります。そのため、Windows 以外の端末を使用している学校から、「校務も 1 台で完結させたい」という要望をいただくことがあります。仮想マシンを活用すれば、物理端末を 2 台持たずに、1 台で校務処理を行うことが可能です。



## 1 時間で展開可能な Windows 365 のシンプルなプロビジョニング

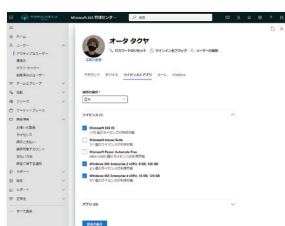
Windows 365 は、物理端末のキッティングと比べて短時間で利用を開始できます。約 1 時間で複数台の端末を展開でき、大規模な導入であっても迅速に対応可能です。

### Windows 365 のシンプルなプロビジョニング



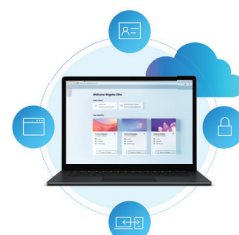
#### ① 展開ポリシー設定

必要に応じて Microsoft Intune にてポリシーやオプションの設定



#### ② ライセンスの割当て

Microsoft 365 管理センターや Entra ID にて対象のユーザーにライセンスを割り当て



#### ③ 約 1 時間で展開

ライセンス割り当て後は自動展開開始 1 時間程で使用できる状態に

## 二つの仮想化ソリューション Window 365 と Azure Virtual Desktop の違い

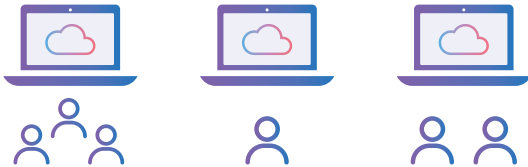
Azure Virtual Desktop は、使用時間に応じた従量課金制で、利用した分だけ費用が発生します。一方、Windows 365 はユーザーごとの固定費用となります。Windows 365 はシンプルな設定が可能ですが、より詳細なカスタマイズが必要な場合は、Azure Virtual Desktop の方が適しています。

### Azure Virtual Desktop

柔軟性のための最適化

#### \$ 使用量に応じた料金

いつでも増減可能、様々なスペック / オプションの仮想 PC



1 PC あたりの共有ユーザーを自由に設定

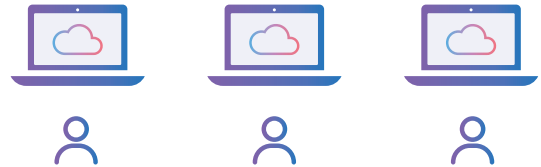
使用状況に応じた設計・運用をすることにより、コストパフォーマンスを最適化することが可能

### Windows 365

最適化されたシンプルさ

#### \$ 月額固定料金

月額単位、固定された数種類の仮想 PC



一人一台の占有 PC だけでなく、共有モードも選択可能

複雑な設計が必要なく、簡単な設定をするのみ  
月額固定にすることによりコストの均一化

#### お客様事例：荒川区教育委員会事例

### Microsoft 365 A5 と AVD と GIGA 端末でもっと子供たちに向きあえる時間を

「子供も教員も Windows OS から他社 OS の端末に入れ替えましたが、**校務ではやはり Windows 環境が必要になる場面**が多くあります。」「学習は他社の OS 端末を利用した Windows とは別の OS 環境、**校務はデスクトップ仮想化の Windows 環境を採用**します。教員の働き方改革や負担軽減のために利便性を向上させることは大切ですが、それと同時にセキュリティレベルを上げなければなりません。」「新たに導入する端末では CD や DVD を作ることができないなど、職員用の Windows PC をすべてなくすと、これまでできていた作業ができなくなってしまうケースもあることから、職員室には引き続き Windows のノート PC を数台残し、端末を変更しても業務に支障が出ないように備えます。先生には、**持ち運びできる新しい端末 1 台で学習系と校務系の業務をロケーションフリーでやってもらう予定です**。今後はこうしたセキュアな ICT 環境を基盤に、**先生には今よりももっと授業や子供たちに集中してもらえるようにしていきたいです**。校務も大事ですが、子供たちに向き合う、子供たちと接することが先生方の本来の業務ですから、教育委員会はそれが可能になる環境をできる限り整えていきます。」



荒川区教育委員会 事務局学務課  
教育事業係 教育事業担当係長  
柳生光彦 様

本記事の詳細はこちら▶



#### Microsoft Education の WEB サイトはリニューアルしました



最新ガイドとカタログ  
詳しくはこちら >>>



教育版マインクラフト  
詳しくはこちら >>>



ICT ツール使い方ガイド  
詳しくはこちら >>>



#### 本リーフレットについてのお問い合わせ

本リーフレットに記載された情報は制作当時（2025 年 4 月）のものであり、閲覧される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。  
本リーフレットは情報提供のみを目的としています。Microsoft は、明示的または暗示的を問わず、本書にいかなる保証とも与えるものではありません。  
製品に関するお問い合わせは次のインフォメーションをご利用ください。  
■インターネット ホームページ <https://www.microsoft.com/ja-jp/>  
■マイクロソフト カスタマー インフォメーションセンター 0120-41-6755（9:00～17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除く）※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。  
※記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。  
※製品の仕様は、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。